淀川水系流域委員会
第 92 回運営会議（H20.1.24）
審議資料２

原案等に関わる質問・回答集への再質問の取り扱いについて

標記再質問については、委員会と河川管理者との協議の方向を踏まえ庶務より質問者に回答することといたします。

□淀川水系流域整備計画原案に関わる質問・回答（1 月 11 日締め切り分）回答に対する再質問

受付番号	小山氏の再質問
(1465)	答えてください。地元住民とは、どなたを想定されているのですか？
(1466)	答えてください。モニタリングできる専門知識を有しているのか、いないのか？
(1467)	答えてください。平成１７年７月１日の“水質への影響”と同じ資料として示して下さい。別紙に示された図表は全然対応していません。
(1468)	答えて下さい。こだしに一部のみ示すのは止めて下さい。Ｔ－Ｐ，Ｔ－Ｎもお願い。

【1/11 締め切り分質問・回答集（抜粋）】

NO	項目	質問	氏名	回　　答
1465	4.2.6 生物の生息･生育環境	第 68 回委員会提供資料「川上ダム建設事業について」 ７．自然環境への影響への質問 ① 59 頁８行目、“地元住民と協働でモニタリングを行い”と記述されている。“地元住民”とはどなたか？	小山公久	・事業の各段階においてモニタリング調査を実施していきますが、専門的な調査に加えて、地元住民の方々と協働で地域の河川環境を保全していくことを目的として、地元住民の方々との協働でのモニタリングを実施する予定です。 ・第 68 回委員会審議参考資料１「川上ダム建設事業について」P.79「7.4 モニタリング」に記述しておりますように、今後、前深瀬川および木津川（服部川合流点まで）を対象として、ダム建設・運用に伴う環境の変化が一般の方々にも分かるような指標生物を設定し、地域と一体となって、環境の変遷や影響の把握に取り組んでいくことを考えおります。
1466	4.2.6 生物の生息･生育環境	② 又、モニタリングできる専門知識を有しておられるのか？	小山公久	・事業の各段階においてモニタリング調査を実施していきますが、専門的な調査に加えて、地元住民の方々と協働で地域の河川環境を保全していくことを目的として、地元住民の方々との協働でのモニタリングを実施する予定です。 ・第 68 回委員会審議参考資料１「川上ダム建設事業について」P.79「7.4 モニタリング」に記述しておりますように、今後、前深瀬川および木津川（服部川合流点まで）を対象として、ダム建設・運用に伴う環境の変化が一般の方々にも分かるような指標生物を設定し、地域と一体となって、環境の変遷や影響の把握に取り組んでいくことを考えおります。
1467	4.2.6 生物の生息･生育環境	③ 7.１水質(59 頁 11 行目)、“前回(第 42 回委員会 H17.7.21 資料)”すなわち第 64 回委員会審議資料 1-2-2『川上ダム建設に伴う自然環境への影響について』の、水質への影響についてよりは、今回の提出資料は大幅に簡略なものしか示されていないので、平成 17 年のと同じようにされたい。	小山公久	・別紙-1467,1468,1476 にお示しいたします。
1468	4.2.6 生物の生息･生育環境	④ 図 7.1.1(60 頁)の鉛直一次元モデル(前回)などの図は、前回には示されておらず、今回ＣＯＤのみ示され、“再現性が向上”とされている。示すなら前回の他のも示されたい。	小山公久	・第 68 回委員会審議参考資料１「川上ダム建設事業について」P.60 図 7.1.1 は、貯水池二次元モデルにより、再現性が顕著に向上されている項目（水温、ＣＯＤ）についてお示ししたものです。なお、その他の項目については、別紙-1467,1468,1476 にお示ししています。